

ひの 議会だより

No. 146

令和8年2月

発行/鳥取県日野町議会



日野に生きる ～地域に根ざす集落支援員～

裏表紙につづきます

新年のご挨拶	P2
12月定例会	P3～4
1月臨時会（補正予算等）	P6
常任委員会報告	P7
一般質問(3名)	P8～9
特集記事シリーズ・日野に生きる	P12

新年のご挨拶

日野町議会議長 中原信男

新年あけましておめでとう
ございます。
皆様におかれましては、晴
れやかな年明けをお迎えにな
られたことと心よりお慶び申
し上げます。
昨年は、日野町にとりまし
て鳥取西部地震から二十五年
と節目の年でありましたが、
本年一月六日に発生した地震
は、改めて当時の記憶を思い
起こさせる地震でありまし
た。また、全国各地では、大
規模火災や地震など、さまざ
まな災害が発生し、いつ起き
るか分からない自然災害に対



し、日頃から備えて行く必要
性を感じているところでござ
います。
今後の日野町の行政課題と
して、人口減少、少子高齢
化、中山間地域振興など（農
業・林業）また、物価高騰の
荒波の中、豊かな自然や歴
史、文化財を活かし、安心し
て住み続けられるふるさとづ
くりを目指し、議会として執
行部とともに協力しあい、政
策を展開していきたいと考え
ます。
基本は、若者に住んでいた
だけ、選んでいただけの町
にすることではないでしょう
か。今年の千支は馬です、馬
の如く飛躍する一年でありま
すよう議会として頑張ってい
ります。
結びに、本年も日野町議会
に對しまして、皆様の変わらぬ
ご指導、ご協力をお願い申し上
げます。

一般会計1億3155万円を追加 総額 45億8759万円に

(表示額は万円単位とし千円以下は切捨)

令和7年12月定例会が5日から17日までの会期で開催され、政府による物価高対応子育て応援手当予算を含む一般会計補正予算、条例改正等の15議案は全て賛成多数で可決しました

一般会計補正予算

(歳出の主なもの)
ふるさと納税

2435万円

納税寄付額が急増したた
め、返礼品等の必要経費。

生活困窮世帯に対する光熱
費助成事業 24万円

・生活保護受給世帯、児童
扶養手当受給世帯が対象。
・1世帯当たり8千円支
給。

生活保護扶助費

1500万円

持病による通院や入院治
療が増加していることによ
り、医療扶助が大幅に増え
ているため。

中山間地域を支える水田農
業支援事業 257万円

水稻栽培農家3名が、機
械導入にあつたの補助金。

林道改良事業

1100万円

林道宝仏山2号線におい
て、法面復旧工事を行う為
の測量設計委託費。

人事院勧告による人件費

2905万円

債務負担行為

令和8年度日野町営交通運
行管理費委託費

7000万円



日野交通バス

特別会計補正予算

(人事院勧告に基づく
人件費が主なもの)
介護保険特別会計

133万を追加
し、総額を6億16
10万円に

介護報酬改定による
システム改修

90万円

簡易水道事業会計

28万円を追加
し、総額を1億81
79万円に

下水道事業会計

92万円減額し、
総額を2億4207
万円に

追加補正予算

政府の物価高対応施策、子
育て世帯へ2万円支給
物価高対応子育て応援手当
交付金

520万円

・児童手当を受給する父母
等へ、子ども一人あたり一
律2万円を支給。
・案内チラシが送付された
後、2月上旬から支給予
定。

日野町議会に関する アンケート調査



議会改革特別委員会
は「議員定数と議員報
酬の現状について」皆
様にご意見をお聞きす
るアンケートを実施し
たします。ご理解とご
協力をお願い申し上げ
ます。
アンケート用紙は、
2月5日に配布させて
いただいております。
専用封筒で返信をお
願います。

この二次元コードで
ご家族様等の複数回答
も可能です。

○ 締め切り日
令和8年3月20日
(無料返信専用封筒)

※スマホ等で読み取り方
法が異なることがあります
ので、それぞれの読み
取り方法を確認の上ご使
用ください。

【2026年春支給】物価高対応子育て応援手当 まとめ

支給額 (WHAT)	対象者 (WHO)	支給時期と受取方法 (WHEN & HOW)
- 子ども1人: 2万円 - 子ども2人: 4万円 - 子ども3人: 6万円 ※一時給付	所得制限なし! 全世帯へ(一時金) 子ども1人あたり2万円を全世帯へ(一時金) 対象者 (WHO) 所得制限なし・全世帯対象 0歳～高校3年生(18歳)まで 対象誕生日: 2007.4.2～2026.3.31	目的・背景 物価高騰の負担軽減・少子化対策 支給時期と受取方法 (WHEN & HOW) 2026年春 支給予定 児童手当受給世帯 → 自治体からの案内で手続き(要確認) → 自動振込(申請不要・プッシュ型) 予算規模・関連施策・準備 予算 約3,700億円 電気・ガス 低所得世帯 支援 複合的な経済対策 今できる準備: 児童手当口座確認/自治体の案内待ち

※2025年12月時点の情報です。最新情報は自治体等をご確認ください。

日野町交流センター「リ
バーサイドひの」管理者指
定の決定

株式会社竜建

応募者から企画提案を受
け選定委員会により選定
(指定期間は、令和8年4
月1日から令和11年3月31
日まで)

日野町過疎地域持続的発展
計画の変更

林業の振興において、
広域基幹林道「金持、秋
縄線」を新規追加計画す
るもの

日野町過疎地域持続的発展
計画の策定

現行計画の計画期間が
令和7年度で満了となる
ことから次期計画を策定
するもの

採
決

全ての議案は、賛成多数に
より可決しました。

採
決
表

議案 番号	令和7年第6回日野町議会定例会議案	小林良泰	小河久人	坪倉敏	中山法貴	梅林智子	金川守仁	松本利秋	安達幸博	竹永明文	採決
第69号	日野町職員の給与に関する条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
第70号	日野町会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
第71号	日野町被災者住宅再建等支援条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
第72号	日野町長等の損害賠償責任の一部の免責に関する条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
第73号	日野町特別医療費助成条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
第74号	日野町乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
第75号	日野町特定乳児等通園支援事業の運営に関する基準を定める条例の制定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
第76号	日野町交流センターの指定管理者の指定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
第77号	日野町過疎地域持続的発展計画の変更について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
第78号	日野町過疎地域持続的発展計画の策定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
第79号	令和7年度日野町一般会計補正予算（第4号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
第80号	令和7年度日野町介護保険特別会計補正予算（第2号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
第81号	令和7年度日野町簡易水道事業会計補正予算（第2号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
第82号	令和7年度日野町下水道事業会計補正予算（第2号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
第83号	令和7年度日野町一般会計補正予算（第5号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決

令和6年度 決算審査指摘事項の回答

議会は、前年度の収支決算をチェックし、次年度の
行政に生かしてもらうため、9月に決算審査し、5項
目を指摘。これを受けて回答が12月にありました。

① 議会に付すべき契約の 施行について

議会の議決に付すべき契
約事項については、変更の
場合であっても議決後の着
手を徹底されたい。

回答

指示書1件あたりの変更
予定額が工事契約額の概ね
5割を超える場合、又は工
法、施工内容、構造等が大
きく変わる場合について
は、速やかに議会に報告
し、原則として、報告後で
なければ変更工事に着手す
ることができないこととい
たしたいと思います。

② 基金の活用について

財政調整基金をはじめと

回答

財政推計を行い、交付税
措置が有利な起債を借りな
がら、その償還額なども視
野に入れ基金を活用しなが
ら、今後も持続可能な財政
運営に努めてまいります。

③ 日野町リノベーション Labについて

Labは、実験、研究施
設とはいえ「だんだん食
堂」運営に偏っており、活
動拠点としての成果が見え
てこない。また、指定管理

制度等の導入について検討
されたい。

回答

「だんだん食堂」は、住
民の自主的な活動へ移行す
るよう促していきたいと思
います。
指定管理制度の導入は、
今後の課題として研究した
いと思っています。

④ 移動販売について

移動販売に関する新しい
取り組みや運営内容を変更
する場合は、事前に議会へ
協議されたい。店舗も老朽
化しており、検討された
い。

回答

委託内容に変更が生じる
場合は随時報告します。
また、母店の老朽化など
を踏まえ今後も事業が存続
できるよう、引き続き検討
します。

日野学園6年生議会開く 13名が質問



6年生議会

⑤ ふるさと教育推進事業 について

事業の目的、成果、ある
べき体制などを精査しなお
し、講師のスキルアップの
ための研修機会を増やすな
ど検討されたい。

回答

講師の研修を積み、安定
した講師の確保について検
討します。

令和7年11月26日、6年生13名（通告14
名）による6年生議会が開催されました。
今年の一般質問は「高齢者が住みやすい
町づくりについて」「教育を受ける権利が
守られる町づくりについて」の内容で熱心に
質問が繰り広げられました。



くらし応援商品券を 1人2万円配布 一般会計1億2084万円を計上

(表示額は万円単位とし千円以下は切捨)

令和8年1月臨時会が20日に開催され、物価高騰対策の交付金を含む一般会計補正予算は、賛成多数で可決しました。

一般会計補正予算 (歳出の主なもの)

省エネ家電購入促進事業
250万円
省エネ性能の高いエアコンや冷蔵庫等の購入に対し、費用の2分の1、5万円上限で補助。



大学等在学生生活支援給付金支給事業
250万円
学生一人につき5万円支給

**原油価格・物価高騰にかか
る社会福祉施設等支援事業**
1026万円
町内の医療・介護・福祉等の事業所を対象に物価高騰支援金を交付。

生活困窮世帯に対する光熱費助成事業
62万円
生活保護受給世帯、児童扶養手当受給世帯を対象に1世帯あたり2万円支援金を支給。

子育て世帯物価高騰対策支援金
780万円
児童手当支給対象の子育て世帯を対象に子供1人あたり3万円支給。

**日野病院への価格高騰対策
応援金**
235万円
鳥取県が制度設計している物価高騰対策費については、自治体病院である日野病院は対象外である為、構成3町と連携し、日野病院への応援金を交付。

衆議院選挙
658万円
衆議院総選挙、最高裁判所裁判官国民審査に係る費用を計上。

除雪対応
2160万円
今後も見込まれる降雪の為に予算の増額。

**農業水路等長寿命化・防災
減災事業**
490万円
下福長地区の農業用水路を三方コンクリートに改修。

**日野町くらし応援商品券事
業**
5455万円
町内店舗で使える商品券1人当たり2万円分を発行。



賛成多数で可決しました。

採
決

教育民生常任委員会

地元の有機野菜等を給食に

本年4月に開始を予定されている学校給食の無償化について、国は児童一人あたり月額5200円程度を軸に検討が進められています。

学校給食に、地産地消や地域の特色ある給食に取り組むためにも、十分な基準額も求める声が出ています。そこで、教育民生常任委員会では、この機会にじっくりと子どものために大切な給食について研究することと致しました。

これまでも学校栄養士さん達は、調味料や食材に注意を払い、様々な努力を重ねて頂いていることは、様々に発信されており情報共有されています。

今後有機野菜栽培やお米をはじめ、地産地消を進める取り組み等を学んでいきたいと計画しています。



町内産食材の促進



総務経済常任委員会

農業委員会と意見交換会

11月10日、農業委員会委員と今年3回目の意見交換会を開催しました。

農業委員会からは、守るべき200畝を目指し、地域おこし協力隊や他業種からの参入、親元就農の推進。集落営農と2拠点農業の模索や新規就農とUターン政策。水路維持管理も手が回らない。対策として非農家の協力も必要ではない意見が出ました。

議員からは、農業振興地域の見直しを行い、農業特区的な地域にして若者の流入を語る。農林振興公社の職員募集体制の強化。町づくりの一貫とした農業政策の強化。再圃場整備は地権者の意向集約等に多大なエネルギーが必要になると意見が出ました。

活発な意見交換会となりましたが、農業推進委員より「担い手が高齢化している。農業機械が非常に高価で買換えが困難になり、農業が続けられない農家がある。高齢化、後継者不安の中でも意欲ある農家には公的機関の農機具リ

ス制度等で離農の延命が図れる政策」の提言があった。

また、新年度には米価格高騰を踏まえ、「国民のコメの関心が急速に高まる」中、認定新規就農制度により、地域農業の担い手確保の仕組みづくりが計画されます。今後も農業委員会とは積極的な意見交換を行ってまいります。



担い手不足を補う農業の機械化

日野町議会12月定例会

一般質問テーマ

坪倉 敏 来年2月の町長選挙について

松本 利秋 町民の健康づくり・有害鳥獣対策

中山 法貴 自治会・農業・山の管理林業

・・・・・・ご案内・・・・・・

チャンネルひので、議会中継がご覧いただけます。

議員名下の二次元コードをスマートフォンやタブレットで読み取ると、各議員の一般質問動画が視聴できます。



松本 利秋議員



健康づくりの高みを

議員 人口が減少し、高齢化率が54割に達している本町。現在住んでいる町民が元気で生きがいを持って暮らしていける町づくりを行わなければなりません。

その一つとして現在、百歳体操の普及に努めておられ成果が出ていると思います。が、元気の良方は、もう少し体を鍛え、老後に備えていこうと言われる方もおられます。元気で楽しい人生を送るために。現在の百歳体操の実施状況はどうですか。

課長 49自治会の内40自治会で取り組んでいます。

議員 私は百歳体操を長年やっています。ヘルスアップ教室とかノルデックウオークなど個々にやってもらえるもの等を、取り入れたらと思います。が、どうでしょうか。

また、遊休施設を活用して、健康



百歳体操で健康づくりを(金持)

づくり施設の整備はどうですか。

町長 色々なものを取り入れるご希望があれば対処します。また、遊休施設を活用した健康づくり教室については、今のところ事業者からの申し出はありません。

今後、住民ニーズを把握したうえで、事業実施について検討して参りたいと思います。

議員 健康づくりの指導者は。町長 今年度実施した「エアロビクス」など、今後も外部への依頼や日野病院のリハビリ職員と連携し、事業を実施して行く考えです。

議員 全国各地でクマが出没し、被害が出ていると毎日報道されていますが、いつ出てくるか心配です。対応と猟友会の体制と育成は。

町長 現在本町では、クマの出没状況はありません。日常生活圏に出た場合、駆除対応により、町民の安心・安全を図りたいと考えます。猟友会には支援し、体制づくりに務めてまいります。



坪倉 敏 議員



来年2月の町長選挙

議員 4年前町長選2期目出馬に際し、政策・目標を7項目挙げられておりましたが、何が達成できたか伺います。

町長 「住んで良かったと思えるまち日野町」をスローガンに掲げ、まちづくりに取り組んできました。

1「集落機能の維持・移住・定住」は集落機能の強化を図り、小さな拠点づくりに取り組み、現在2拠点活動が今年度もう1拠点追加されます。

2「子育て、幼児教育」は、日野郡3町と医療機関が連携し、鳥取大学医学部付属病院より小児科医の派遣を確保できました。

3「学校社会教育」では、根雨小、黒坂小、日野中学校を新たに義務教育を一貫して行う「日野学園」を開校しました。

4「産業・雇用」としては金持テラス特産品売場の充実や、オシド



小中一貫校として開校した日野学園

り観察小屋のリニューアルオープンをしました。

5「まちづくり」では、「ささえ愛コンビニ・プロジェクト」をスタートさせました。

そのほか6「保険、医療、福祉」では百歳体操やフレイルチェックなど健康増進や、7「防災・減災」では支え愛マップの作成、備蓄資材の整備、消防車両の更新、耐震性貯水槽の整備などに取り組みました。

議員 2月の町長選挙における、3期目についての考えをお聴きたい。

町長 この町のために働きたい若い候補者に未来を託したいと思えます。

活動が困難な自治会

議員 少子高齢化で活動が困難な自治会が出てきています。これについての考えと対策は。

町長 支援として自治会へ活動支援交付金を出すなどしています。集落・暮らしのサポーターの配置などもしています。

議員 活動が困難というのは、集金や配り物、また水路管理や防災などの運営のことです。そこについての町の考えは。

課長 全てを公助で担うということとはなかなか難しい。公助と共助のバランスを考えています。

議員 自治会集会所の改修や撤去時の補助金等についての考えは。

町長 集会所はそれぞれの責任で管理されるのが原則です。

議員 集会所を作るときは町から補助金が出ました。たたむときの補助金も考えてほしいとの声もあります。



菅福連合自治会主催の町政を語る会

町長 撤去時の補助金は、将来に向けての検討事項だと考えています。

農業継続が困難な農家 農地を守るには

議員 農業継続が困難な家や集落が出てきています。これについての考えは。また、町として農地をどこまで守る考えですか。

町長 農業継続が難しい農家や集落が生じていることは大変重く受け止めています。少しでも多くの農地を維持していくための地域の取組を支援していきたいと思えます。担い手農家への農地集積、担い手農家の育成、また日野町農林振興公社の機能強化をしていきます。

議員視察研修

全国過疎問題シンポジウム 2025 in とつとりに参加

全国過疎問題シンポジウムが鳥取県で開催され、日野町議会は議員研修として参加致しました。

10月30／31日、とりぎん文化会館で行われ、県の過疎地域振興部会長中村英明

日南町長の開会宣言で始まりました。主催者の総務大臣代理挨拶、平井知事の歓迎挨拶など、石破総理大臣の地方創生を意識した過疎問題大会の様に感じました。



日野町もブース出展し宣伝

中塚雅也神戸大学大学院

農学研究科教授の基調講演

は「次世代につなぐ人づくりとエコシステム」と題して、これからの地域づくり

↓人づくり↓人材確保↓組織づくりが基本で、組織区分ではリーダー↓問題解決の代表・三役、メンバー↓

会員・組合員、サポーター↓関係人口を取込む。

次世代へ意識した取組み、組織づくりが人材育成、定着の手法と解かれた。最後に「関わる多くの人が楽しみ、やりがい、活動ができる」その様な地域づくりを共に進めれば問題解決の糸口が見えると講演された。

女性パネラーの活動事例に感動

女性パネラーの活動事例に感動

二部ではコーディネーターに筒井一伸鳥取大学地域学部教授と、女性4人のパネラーによるパネルディスカッションが行われた。

鳥取県町村議会研修会報告

令和7年11月28日(金)

湯梨浜町「ハワイアロハホール」

地方議員のなり手不足の背景を考える
議員報酬・議員定数も意識して

2023年地方自治法「第89条の改正」により議員の役割・職務等を明確化

されたが具体的な結論に至っていないとされています。多くの町村議会でも

講師

拓殖大学政経学部
社会安全学科
教授 河村一徳氏

議会アンケート調査結果(抜粋したもの)

参考資料①

(単位:%)		
項目	町村議会	市議会(参考)
議会議員の位置づけの明確化	44.9	36.8
兼業禁止の明確化(一部緩和されている)	32.5	18.9
手当制度拡充	33.5	25.7
保育スペースやパイアフリー化の整備	28.0	37.6
主権者教育の推進	21.4	36.2
厚生年金への加入等(福利厚生制度など)	49.3	53.7

実態調査としてアンケートを実施した結果は、ほぼ同感だと思われる。ただ、整合性のない要望もあることも知っておく必要がある。その声は、「無駄な議員を減らせ・議員報酬が高い・政務活動費が高い」など、町村議員は生活給を想定しない仕組みづくりからスタート(拘束時間を考えることが必要)通年議会の考え方につながることも議論されています。

冒頭に「本当にこのまま、まちは持続的に成長し続けられるのでしょうか」との質問から始まった講演は聞くだけでは参加者が、近隣の参加者とグループ討議をしながらテーマごとに討議することを中心とし、また、そのテーマについてはまとめることはしない、いろいろな考え方を話し合い、それぞれの立場の意見を聴き上手になることを主とし進められました。

「そもそも議員とは」「町の課題・問題とは」「必要とされている議会の役割とは」「目的と手段など具体的に組み立て現場を見失わないためにどうすることが必要なのかに組み組むべきで、優先順位をつけて、いろいろな角度から観測して決めていくことが必要である。」「しがらみ」「立ち位置」からの意見が壁になっていないかなど具体的に正しくデータを読み取る力も重要。

住民が求める地方議会・期待される地方議員とは何か

講師

一般財団法人地方公共
団体政策支援機構
理事 渡辺太樹氏

琴浦町、日南町の人口減少データを参考に、東京都世田谷区のデータを比較し、見えてくるものをどう感じるか、新たな感性を磨くヒントとし、勘ではなくデータを読み取ること、現状を正しくみて議論することが重要である。



用、職員管理、人口減少対策、企業連携、ふるさと納税などを担当。情報発信も確かで、「宝島社の田舎暮らしの本」では、住みたい田舎で2年連続1位を獲得するなど過疎の村を楽しんでいる様な姿には感動すら覚えました。

過疎の町を嘆くのではなく、現実を見つめ、日々の暮らしを地域で支え合う取組みこそ私たちの町の過疎対策ではないと思いました。



議員研修





取材記事
シリーズ!

第20回 日野に生きる

～拠点づくりに奮闘～ 片桐 圭さん



獅子舞に参加の片桐圭さん

元旦に金持神社で獅子舞を奉納し、その後家内安全を祈願し獅子舞を玄関先まで届けています。片桐圭さんは獅子舞奥様は太鼓を担当。メンバーと共に金持に福を届けました。

片桐圭さんは集落支援員になられ3年。持ち前の柔らかな笑顔で、誰の心にも屈託無く優しい風を吹かせてくれるような方です。お二人の出会いとは与那国島。お互いが好奇心の塊。世界各国の町を巡り、そこで働き数年過ごす生活を体験してきた20代。ゲストハウス滞在中の運命の出会い。旅の話ですっかり意気投合しました。

れました。以前東京で子ども食堂にかかわり、様々な子ども達が成長していく様子を、つかず離れず見守ってきた事が、自分の原点かもと仰います。

皆さんが利用しやすい場を作り、この地を支えたい

志ははっきりしています。地区の皆さんが優しく受け入れて下さったからと、笑顔で感謝を語られました。

月例でお昼ご飯の会を開けば40人もの方々が集まってくる。毎年恒例のお盆の流しそうめんには、青竹の香りも素晴らしい。そうと帰省客の皆さんにも好評。アユの唐揚げやスツポン鍋などスペシャルメニューが飛び出したこともありました。

活動半年後には金持第2拠点（古田荘）の開設もされました。餅つきやちまき作りには、日野高校双葉寮の生徒さん達を招き、一緒に楽しませてもらいました。まるで親戚の子どもが訪ねて来てくれたような温か



家内安全を祈願し全戸を（金持青年会）

な交流が生まれ、行事を楽しみにして頂けることが嬉しいですよと笑み。

近所の方に教えてもらい、野菜を作っています。立派な大根・白菜・キャベツ・ネギ。夏野菜は保存して利用しています。

今年から米作りにも挑戦します。皆さんで作った金山寺みそが人気上昇中とか。夏野菜の塩漬けの出番を迎えました。一緒に食べて楽しみましょう。皆様の参加をお待ちしています。

あとがき

新年あけましておめでとうございます。

年明け早々の地震により被害を受けられた皆様によりお見舞い申し上げます。今年は鳥取県西部地震から26年。改めて防災意識を新たにす年明けとなりました。

さて、厳しい雪の季節が続いておりますがここで少し心を和ませる「問いかけ」を。

「雪が溶けたら、何になる？」

水になると答えるのは左脳派、春が来ると答えるのは右脳派だそうです。皆様はどちらでしたか。厳しい冬の先には、必ず春が訪れます。本年も皆様の声を力に、温かな町づくりに邁進して参ります。

（小河 久人 記）

議会広報常任委員会

委員長	小林 良泰
副委員長	小河 久人
委員	松本 利秋
委員	金川 守仁
委員	梅林 智子
委員	坪倉 敏

